

2014旭川清流シンポジウムに参加しました。

6月29日(日)に岡山県真庭市の勝山文化センターで、岡山県、真庭市、旭川流域ネットワークの主催により「2014旭川清流シンポジウム」が開催されました。(主催者発表で約200人の参加)

シンポジウムは、旭川の水質の現状発表や旭川流域内で活動を行っている団体の活動報告のほか、水質改善の先進事例として、「清流高津川「日本一にこだわって」」と題し、益田地区広域市町村圏事務組合とNPO法人アンダンテ21が、島根県益田市を流れる高津川と益田川の水質改善と地域の関わり、流域全体としての取り組みについて講演が行われました。

続いて行われたパネルディスカッションは、旭川流域ネットワークからコーディネーター1名、パネラーとして園田岡山河川事務所長、太田真庭市長、流域内で活動している団体から白質川地域協議会、落合野鳥の会、たけえだ水辺の楽校実行委員会、旭川遠泳実行委員会から各1名の計6名が出席してそれぞれの視点から意見がかわされました。

パネルディスカッションでは、主に旭川の環境改善について話し合われ、上流では下流に良好な水質を引き継いでいくこと、下流では上流のおかげで恵まれた水環境があると認識すること、住民ひとりひとりが水質改善に向けて意識を持つことが必要等の意見や、旭川流域を発展させていくためには上下流の行政間で連携していくことが重要である等の意見が出されました。

また、ロビーではポスターセッションも行われ、主に旭川流域で活動している24団体のパネルが展示されました。



益田地区広域市町村圏事務組合とNPO法人アンダンテ21による講演



パネルディスカッションの様子



ポスターセッション会場



ポスターセッション会場



ポスターセッション会場



会場内の様子